



空海室に新しい資料を展示します

1 空海室（常設展示室3）の展示替えについて

空海室は、「弘法大師空海こうぼうだいしの生涯と事績」というテーマで、郷土の偉人・空海（774～835）の足跡を紹介している常設展示室です。

日本の歴史や文化に大きな影響を与えた、空海。京都東寺の灌頂院かんじょういんをモデルにしつらえた空間で、中世に描かれた絵巻えまきの流れに沿って展開する本展示では、空海の生涯の流れをわかりやすく体感していただくことができます。国宝や重要文化財など各大寺院に伝わる空海ゆかりの宝物ほうもつを忠実に写した複製資料を中心に、四国遍路など弘法大師信仰の広がり进行うかがえる実物資料を展示し、定期的に展示替えを行っています。

今般、9月24日（木）に令和8年度2回目の展示替えを行いますので、お知らせします。

令和8年度の展示替え予定

空海室 ①6月15日（月） ②9月24日（木） ③12月下旬 ④3月15日（月）

2 展示替えを実施した展示室

香川県立ミュージアム 常設展示室3（空海室）

3 主な展示替え資料

往来村送り一札（江戸時代）

往来一札之事（江戸時代）

奉納四国八十八箇所納経帳（江戸時代）

4 開館時間と観覧料

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

夜間開館日：午前9時～午後8時

（入館は午後7時30分まで）

休館日 毎週月曜日、ただし11/9、16、23、12/7は開館

（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）

10/16～21、11/17～19、11/30～12/2は臨時休館

観覧料 一般500円 団体（20名以上）400円

※高校生以下の方、香川県在住の65歳以上の方、障害者手帳・特定医療費（指定難病）受給者証・小児慢性特定疾病医療費受給者証等の提示者とその介護者の方は無料。

※特別展開催中は、特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※「香川県民の日」（12/3）は観覧料無料

5 行事

ミュージアム・ショートガイド

当館職員が展示をワンポイントで解説します。要観覧券、申込不要。

10月10日（土）、11月22日（日）、12月20日（日） 各日10:30～（20分程度）



The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム
常設展示室3「空海室」 Permanent Exhibition Room3 "The Kukai Room"

〒760-8001 香川県高松市加茂町5番5号
5-5 Tamate-cho, Takamatsu-shi, Kagawa 760-0001
TEL 087-822-0002

観覧券は、各展示室の入口に設置されたQRコードで読み取ります。



6 主な展示資料の概要

四国遍路コーナー

弘法大師信仰の広がりのひとつとして、大師の足跡を訪ねて四国八十八箇所霊場を巡礼する「四国遍路」があります。これらの霊場は、空海が修行した場として伝えられ、霊地巡礼の起源は平安時代にさかのぼるとされています。今回は、当館が収蔵する四国遍路に関する資料から、昭和時代の地図などをご紹介します。

おうらいむらおく いっさつ おうらいいっさつのこと
往来村送り一札・往来一札之事

江戸時代

当館蔵



往来村送り一札



往来一札之事

きいのくにさんどうなか たへえ
紀伊国山東中村（現和歌山市）の多兵衛が、天保12年（1841）に四国遍路をした際に発行され
た往来手形。「村送り一札」は村の庄屋、「一札之事」は檀那寺から出されている。もし旅先で亡
くなくても国元へは知らせず、その国の作法で葬られて構わないという文章も記されている。

ほうのうしこくはちじゅうはちかしょうのうきようちよう
奉納四国八十八箇所納経帳

江戸時代

当館蔵



文政7年（1824）の四国遍路納経帳。納経とは、寺院へお経を奉納することだが、後に参詣することを意味した。納経帳は寺院の本尊の名や参詣の日付、朱印を受けたもので、巡礼後も大切に保管された。



空海室アイコン

京都東寺の灌頂院の内部を再現した展示室をアイコンにしました。
空海が創始した密教修法しゅほうにおいて、曼荼羅と五大尊が配される空間をシンプルにデザインしています。